

2026年6月19日

各位

近江鉄道株式会社

列車検知設備の不具合による運転見合わせについてのお詫びとお知らせ

2026年6月13日（土）20時14分頃、近江鉄道本線 八日市駅～桜川駅間において、レールとレールを電氣的につなぐ部品が脱落したことにより、列車の位置を検知する設備の不具合が発生したため、同区間を含む八日市駅～日野駅間で運転見合わせを実施いたしました。ご利用のお客さまには大変ご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

詳細につきましては下記のとおりです。

記

1. 発生日時 2026年6月13日（土）20時14分頃
2. 発生場所 近江鉄道本線 八日市駅～桜川駅間
3. 運休区間 近江鉄道本線 八日市駅～日野駅間
4. 運転再開時刻 2026年6月13日（土）22時06分（日野駅発上り列車より順次再開）
5. 影響 運休本数 4本、影響人員 約60名
6. 経緯 20時14分頃、八日市駅～桜川駅間において、線路上に列車がないにもかかわらず列車の位置を検知する設備が誤った信号を繰り返し発したため、同20時14分より八日市駅～日野駅間の運転見合わせを実施いたしました。係員が現場で点検を実施したところ、電気設備に異常は認められませんでした。また、不具合が確認された区間を徒歩にて点検し、レール等にも異常がないことを確認しました。その後、同様の不具合が再発しなかったことから、22時01分に運転再開を決定し、22時06分に日野駅発列車が出発、また、22時22分頃に八日市駅を発車いたしました。翌14日朝の再点検の結果、5時40分頃レールとレールを電氣的につなぐ部品の脱落を確認し、同日8時19分に補修作業を完了しました。
7. 原因 電車の振動により、レールとレールを電氣的につなぐ部品が脱落し、列車の位置を検知する設備が正常に機能しなくなったため。
8. 再発防止策 脱落が起きにくい規格の部品を使用して補修を実施いたしました。

以上